

**授業概要**

この科目は、保育実習Ⅱ（施設）のための必修科目である。多様な種類の児童福祉施設等で実習を行うために必要な基礎知識を講義する。事前指導では、施設における実習の目的や内容、実習を行う上での心構えやマナーをはじめ、施設の種別ごとに、その概要を指導する。施設の種別は、幅が広いので、共通する知識の講義とともに、必要に応じて、施設の種別ごとにクラスを分けて授業を行う。事後指導では、施設実習での学びを振り返り、その後の課題を自覚できるように指導する。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	施設実習の基礎知識（目的、内容、課題）
第3回	実習日誌の書き方①—実習日誌で使用する漢字
第4回	実習日誌の書き方②—実習日誌で使用する表現
第5回	実習日誌の書き方③—実習日誌の文例
第6回	実習日誌の書き方④—実習日誌を書く
第7回	児童福祉法・障害者自立支援法
第8回	施設の種別の理解
第9回	施設実習の実際について
第10回	児童養護施設について
第11回	知的障害児施設について
第12回	直前指導①—実習先の発表と実習の準備
第13回	直前指導②—実習にあたっての注意事項
第14回	施設実習の反省と評価
第15回	施設実習のまとめと今後の課題
第16回	総まとめ

**到達目標**

社会福祉施設に実習に行き、有意義な実習を行い、その後の学びに結びつけること。

**履修上の注意**

欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず連絡をすること。連絡がない場合、配布物など受け取れないことがある。課題は必ず提出すること。

外部講師を招へいして授業を行う場合がある。

**予習復習**

授業ごとに実習先施設に関する資料の配布や連絡などを行うので、1回でも欠席すると実習に支障をきたすので留意すること。実習に際しては、実習先に迷惑をかけることがあってはならないので、この点を十分に理解して授業に臨むこと。

課題が多いので、その週のうちに勉強し、翌週必ず提出すること。

**評価方法**

授業態度 10%、課題の提出状況 30%と内容 60% を基準に総合的に判断して評価する。

**テキスト**

テキストは、授業内で指示する。